

東北風景写真家協会会員向け会報「東風季報」第40号です。当会報は会の行事、活動計画、各種のお知らせ、撮影適所、撮影情報、撮影テクニックなどの記事を掲載しております。

# 東風季報

発行  
東北風景写真家協会  
〒980-0852 仙台市宮城野区榴岡3-8-15  
東北カラーデュープ株式会社内  
Tel 022-256-2141, Fax 022-256-2142  
編集 阿部・丸山

## 秋の撮影ツアー 募集について

【目的地】  
美ヶ原・上高地  
【長野県】方面

【日程】10月17日  
(火)～19日(木)  
旅行代金：68,000円  
募集人員：40名  
(最小催行人数30名)

【旅行企画実施】  
河北新報トラベル

【撮影地】  
美ヶ原→上高地  
撮影上の注意

- ・美ヶ原高原は国定公園内にあります。
- ・遊歩道以外への進入はできません。
- ・三脚は通行人の妨げにならない場所に設置してください。
- ・高山植物の保護、育成にご協力ください。
- ・より多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

## 美ヶ原

美ヶ原高原は松本市の東に位置する山の詩人「尾崎喜八」が讃えた広く美しい高原で、夏



【高原全体が秋一色】



【富士山遠望】

には、放牧の牛たちがのんびりと草を食み、可憐な花たちが風に揺れます。

標高2000mに広がる高原の、日本百名山のひとつに謳われる美ヶ原の最高峰は王ヶ頭(標高2034m)で、牧歌的な草原と急峻な地形が広がる風景を望みながら、遊歩道や本格的なトレッキングコースが楽しめます。

王ヶ頭に立てば、北アルプス、南アルプス、富士山、八ヶ岳、浅間山と雄大な山々の眺望が堪能できる360度の大パノラマが広がります。

## 上高地

美ヶ原の次は上高地に向かいます。

上高地は標高1500mにある前後約10km、幅最大約1kmの堆積平野です。この時期美しい紅葉とダイナミックな山岳風景で人気があります。



【大正池】

### 【宿泊先】

美ヶ原・王ヶ頭ホテル  
(予約のとれない人気ホテル)

上高地・上高地アルペンホテル

旅行行程等詳細は東風季報第40号同封チラシをご覧ください。

### 【申込先】

河北新報トラベル  
東北風景写真家協会  
秋の撮影ツアー係  
022(211)6960  
(一部記事と画像はインターネットより引用)

## 第12回 撮影実習セミナー

第12回  
撮影実習セミナー開催

今年度の事業計画に基づき、以下の通り実施いたします。今回は日本の原風景を残す鶴岡市田麦俣地区で実施いたします。

【開催日】  
2017年7月4日  
(火曜日)

企画：  
東北風景写真家協会  
(イベント運営主幹)

旅行企画実施：  
河北新報トラベル  
(受付窓口、交通手段手配、保険手配)

協賛：  
東北フォトウォーク  
キングクラブ  
(PR、集客協力)

後援：  
たにしの楽校保存会  
事務局(会場提供)

特別後援：  
庄内日報社

特別協力  
(一財)まちむら交流機構のご協力もいただいております

開催場所：  
鶴岡市田麦俣「たにしの楽校」(旧大網小学校田麦俣分校)

〒997-0532  
山形県鶴岡市田麦俣七ツ滝91

日程：  
7月4日(火)  
10:00～16:00

### 参加費

- ・8,800円(バス代、高速代、昼食弁当代、講師料)
- ・現地集合参加の場合2,000円(昼食弁当代、講師料)
- ・現地の南正一会員より紹介、地元の写真愛好会参加も予定。

【日時】  
2017年11月16日  
(木曜日)

【会場】  
日立システムズホール  
3Fエックホール

【募集人員】  
定員90名  
(先着順定員締切)

【会費】  
会員 1,000円  
非会員 1,500円

【申込先】  
河北新報トラベル  
東北風景写真家協会  
撮影実習セミナー係  
022(211)6960

【日程】  
10:30 撮影開始  
12:00 昼食(弁当)  
13:00 データ抽出  
16:00 終了・撤去  
18:30 仙台駅東口  
19:00 泉中央着

## 川隅 功 先生 スライド&トークセミナー

毎回好評のプロ写真家による、スライド&トークセミナーを次の通り実施します。

【講演者】  
川隅 功 先生

花の風景、水の風景、樹の風景をメインテーマに日本国内の自然風景を追いかける写真家

【日時】  
2017年11月16日  
(木曜日)

【申込方法】  
①先行予約(6/1より)電話にての受付  
②ハガキによる申込み(9/1より)

【会場】  
日立システムズホール  
3Fエックホール

【募集人員】  
定員90名  
(先着順定員締切)

【会費】  
会員 1,000円  
非会員 1,500円

【申込先】  
河北新報トラベル  
東北風景写真家協会  
撮影実習セミナー係  
022(211)6960

## お知らせ

★写真コンテスト  
上位入選者  
第56回二科会 写真部展A単写真部門  
入選  
宮城県仙台市  
青木 威世男さん

第14回日本写真作家協会(JPA)公募展  
入選者  
宮城県仙台市  
相原 智恵子さん

宮城県仙台市  
大友 悦男さん  
宮城県仙台市  
佐々木 かよさん

★新規入会会員 紹介  
宮城県仙台市  
小椋山 裕行さん  
宮城県仙台市  
鈴木 真知子さん

宮城県仙台市  
宮城 千賀子さん  
★写真コンテスト及び公募展に入賞または入選された方、ご連絡下さい。また、個人で写真展を開催される方もご連絡下さい。

規定に則って掲載いたします。

役員幹事  
人事  
お知らせ

幹事長 退任  
進藤 弘融  
(渉外担当)

幹事就任  
主に写真関連  
雑誌やプロの  
先生との窓口  
としてご尽力  
いただきます。

幹事長代行  
丸山 慎一  
(副会長兼務)

## お願い

★平成29年度年会費の  
お支払いのお願い

協会の各種企画事業や「東風季報」の作成、発行、郵送料等は皆様の年会費にて運営しております。

納の方は、左記口座宛宛意振込み下さい。振込手数料はご負担をお願いいたします。

●七十七銀行旭ヶ丘支店  
普通 5272599  
東北風景写真家協会

●ゆうちょ銀行  
181901  
1438888

トウホクフウケイ  
シヤシンカキヨウカイ

## 写真展紹介

### 秋葉健一会員個展開催 「フォトカレンダー」

期間：6月23(金)24(土)  
25(日)30(金)7月1(土)  
2(日) 10時から5時迄

場所：Artgallery杜  
(泉区明石南2-5-5、  
080-9333-0061)

同時開催 (2階 柊)  
コラボ展「花ひととき」  
写真：秋葉健一  
いけばな：山田美堂



6/23(金)24(土) 25(日)30(金)7/1(土)2(日)



写真：秋葉健一  
いけばな：山田美堂

私の見た白神山地について

小松 金吾



【日本海に迫る白神岳（左側）】

長さ50cmで、5月頃、黄色い花をつけま... 秋に熟し、豊凶があり、通常5...



【岳岱自然観察教育林内】

はじめに、世界自然遺産白神山地についてその概要を、「東北森林管理局」と「藤里森林生態系保全センター」両機関作成の散策ガイド誌に基づいて、掲載させていただきます。
▼世界遺産白神山地は、秋田県北部と青森県西部の県境にまたがる広大な山岳地帯の総称です。このうち、人手の殆ど入っていないブナを主体とする区域16971haが比較的広く、ひとまとまりで残され、動植物の多様性に富んでいることから、1993年12月、鹿児島県屋久島とともに、日本で初めて世界自然遺産として登録された。
▼この地域は、ブナなどで構成された森林に覆われ、ツキノワグマやクマガイ・イヌワシなど多くの生き物が生息し、豊かな森林生態系が保たれており、遺子の宝庫としても高く評価されています。
▼またこの地域の保護管理は、国や県の関係行政機関が策定した「白神山地世界遺産地域管理計画」に基づいて実施されています。
そして、林野庁が「森林生態系保護地域」を、環境省が「自然環境保全地域」を指定し、一部自然公園として保護されています。
▼ブナは、北海道から九州の山地に分布し、日本の温帯林を代表する樹種です。高さは25mに達します。樹皮は堅く、灰白色で滑らかです。葉は互生し、7年に一回程度と言われています。ブナ林は、多くの動植物を育み、また、湯水や洪水を防ぐなど保水機能が非常に高いといわれています。
▼さて、「東風季報」、編集担当の方から依頼があつて、僭越ながら、白神山地は地域の課題としてペンを取らせていただきました。
▼2月1日少々吹雪いていたが、今日の白神山地の情報と思い高速秋田道のしる東ICから、北へ二ツ井白神ICで降りて県道317号で秋田県側白神山地玄関口とも言われている藤里町商工観光課に向かった。
▼昨夜からの降雪で轍がさだまらずハンドルが取られる。この県道は西目屋に通ずる唯一の重要道路であることはいささか驚きだ。あーと思いつつ走行...
▼冬期間道路状況
○11月下旬〜5月下旬まで通行止め
○平成28年白神山地入山者状況
総入山者数3万2224名(秋田県側3735名、青森県側2万8489名)
▼前述の全入山者の89%が青森県側の入山者であることを示しているが、これは、青森県と秋田県との入山規制の難易度合によるもので、世界の人が入山し易くなることを願って止まない。
▼皮肉にも昨今のマスコミ情報によると、日本シカ等が急速に殖えていることを知らされないと何かしらいたまれない気持ち一杯だ。
▼デジタルカメラはフィルムよりも高感度撮像等が可能になったこと。とりわけ自家プリントではフィルム時代には面倒であったプリント依頼の煩雑さから解放される大きな利点がある。
▼しかし、フィルム費から解放されたこともありデジタル撮影では撮像枚数が増えるのも悩みの種。使わないであろうデータがハードディスクの中で増殖し続けるのは何とも精神衛生に悪い。そこで私はおおよそ一日300枚の自主規制を設け、そして残すのは約一割程度を目標としている。撮影では決して連写などはしない。撮影後のデータ整理が大変！何十枚もの同じカットから作品を選び出すのは想像するだけで疲れてしまう。
▼撮像素子が高度化したとは云え、撮影時の印象をいつも忠実に再現するに十分な予感がある。一方、デジタル写真には写真制作の全工程を自分の手で完結できる大きな魅力があり、フィルムには戻れないと思う自分もいる。
▼デジタルカメラにはフィルムの選択に相当する風景、人物、モノクロ等の多様な撮影モードがあること、撮像素子等の高機能化等により高感度撮像等が可能になったこと。とりわけ自家プリントではフィルム時代には面倒であったプリント依頼の煩雑さから解放される大きな利点がある。
▼しかし、フィルム費から解放されたこともありデジタル撮影では撮像枚数が増えるのも悩みの種。使わないであろうデータがハードディスクの中で増殖し続けるのは何とも精神衛生に悪い。そこで私はおおよそ一日300枚の自主規制を設け、そして残すのは約一割程度を目標としている。撮影では決して連写などはしない。撮影後のデータ整理が大変！何十枚もの同じカットから作品を選び出すのは想像するだけで疲れてしまう。
▼撮像素子が高度化したとは云え、撮影時の印象をいつも忠実に再現するに十分な予感がある。一方、デジタル写真には写真制作の全工程を自分の手で完結できる大きな魅力があり、フィルムには戻れないと思う自分もいる。
▼最近、デジタル写真はモノクロ写真と似ていると感じている。モノクロでは撮影意図に応じたフィルムの選択、ネガ作りを行い、暗室作業での印刷紙選択、焼き付け・現像作業で作品に仕上げている。デジタルでは撮影意図に応じて撮影モードを選択し、多くの被写体情報をデータとして残すことに留意して撮影を行い、明室作業(データの微調整・プリント作業)で作品に仕上げていく。
▼デジタルデータをラボで銀塩プリントするのも有効な方法ですが、パソコンに不慣れな方も一寸傾けながら一心に聞き洩らすまいと鉛筆を走らせながら「気象通報」に耳を傾けながら「ひまわり」の画像が使われているから馴染みあわせていこう。「ひまわり」運用歴史詳細は省くけど、今年3月10日からは「ひまわり9号」の2機体制が確立し、平成41年まで運用されます。
▼私たち写真趣味の世界でも「天気予報」は大いに気になるところである。今日明日だけでなく週間予報も撮影日や撮影場所ごとに気になるところです。それも「気象衛星」の写真データが役立ち、特に台風の季節には進路や暴風雨の予測に重要です。
この同じ「東風季報第十六号」(二〇一一年六月発行)で、「晴れおとこ、雨おんな」という記事を書いた。写真撮影に天気は重要だが、根気よく粘れば一瞬の光りが感動を与えてくれることを、知ると思います。
もし気象予報士になつていたら、たぶん写真の世界には入つていなかったと思う。なぜなら偶然に見えた光景が偶然でなくなり、当然になつてしまうから。たぶん「気象予報士」になれなかった負け惜しみかもしれない。
(二〇一七年六月 丸山慎一)

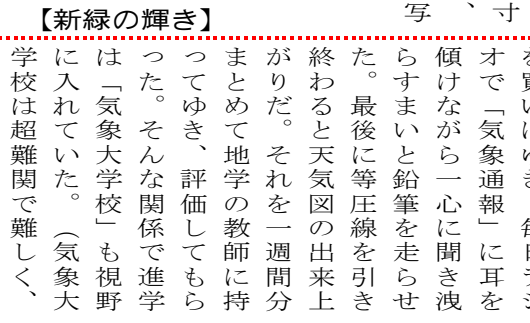
私のデジタル写真作法

先崎 康人

デジタルカメラはフィルムよりも高感度撮像等が可能になったこと。とりわけ自家プリントでは面倒であったプリント依頼の煩雑さから解放される大きな利点がある。
▼しかし、フィルム費から解放されたこともありデジタル撮影では撮像枚数が増えるのも悩みの種。使わないであろうデータがハードディスクの中で増殖し続けるのは何とも精神衛生に悪い。そこで私はおおよそ一日300枚の自主規制を設け、そして残すのは約一割程度を目標としている。撮影では決して連写などはしない。撮影後のデータ整理が大変！何十枚もの同じカットから作品を選び出すのは想像するだけで疲れてしまう。
▼撮像素子が高度化したとは云え、撮影時の印象をいつも忠実に再現するに十分な予感がある。一方、デジタル写真には写真制作の全工程を自分の手で完結できる大きな魅力があり、フィルムには戻れないと思う自分もいる。
▼最近、デジタル写真はモノクロ写真と似ていると感じている。モノクロでは撮影意図に応じたフィルムの選択、ネガ作りを行い、暗室作業での印刷紙選択、焼き付け・現像作業で作品に仕上げている。デジタルでは撮影意図に応じて撮影モードを選択し、多くの被写体情報をデータとして残すことに留意して撮影を行い、明室作業(データの微調整・プリント作業)で作品に仕上げていく。
▼デジタルデータをラボで銀塩プリントするのも有効な方法ですが、パソコンに不慣れな方も一寸傾けながら一心に聞き洩らすまいと鉛筆を走らせながら「気象通報」に耳を傾けながら「ひまわり」の画像が使われているから馴染みあわせていこう。「ひまわり」運用歴史詳細は省くけど、今年3月10日からは「ひまわり9号」の2機体制が確立し、平成41年まで運用されます。
▼私たち写真趣味の世界でも「天気予報」は大いに気になるところである。今日明日だけでなく週間予報も撮影日や撮影場所ごとに気になるところです。それも「気象衛星」の写真データが役立ち、特に台風の季節には進路や暴風雨の予測に重要です。
この同じ「東風季報第十六号」(二〇一一年六月発行)で、「晴れおとこ、雨おんな」という記事を書いた。写真撮影に天気は重要だが、根気よく粘れば一瞬の光りが感動を与えてくれることを、知ると思います。
もし気象予報士になつていたら、たぶん写真の世界には入つていなかったと思う。なぜなら偶然に見えた光景が偶然でなくなり、当然になつてしまうから。たぶん「気象予報士」になれなかった負け惜しみかもしれない。
(二〇一七年六月 丸山慎一)

昔、気象予報士を目指したことがある。50年前の話である。当時(今もそうかな?)NHKラジオ第二放送で「気象通報」という天気図の基になる情報を一日3回流していた(現在は毎日16時から一回のみ)。
▼日本各地と周辺の定点観測データが放送される(約50地点)石垣島から始まり日本、ロシア、中国、韓国、東南アジア、太平洋上、最後に富士山で終わる。東北では、小名浜、仙台、秋田、宮古の4地点です。それを専用の記入用紙にプロットしてゆくと、風向、風力、天気、気圧、気温などで等圧線を引き、天気図の基ができます。
そして天気予報が大幅に正確さを増したのは「静止気象衛星」の貢献が大いだと思う。その愛称を「ひまわり」という。ニュースなどでも「ひまわり」の画像が使われているから馴染みあわせていこう。「ひまわり」運用歴史詳細は省くけど、今年3月10日からは「ひまわり9号」の2機体制が確立し、平成41年まで運用されます。
▼私たち写真趣味の世界でも「天気予報」は大いに気になるところである。今日明日だけでなく週間予報も撮影日や撮影場所ごとに気になるところです。それも「気象衛星」の写真データが役立ち、特に台風の季節には進路や暴風雨の予測に重要です。
この同じ「東風季報第十六号」(二〇一一年六月発行)で、「晴れおとこ、雨おんな」という記事を書いた。写真撮影に天気は重要だが、根気よく粘れば一瞬の光りが感動を与えてくれることを、知ると思います。
もし気象予報士になつていたら、たぶん写真の世界には入つていなかったと思う。なぜなら偶然に見えた光景が偶然でなくなり、当然になつてしまうから。たぶん「気象予報士」になれなかった負け惜しみかもしれない。
(二〇一七年六月 丸山慎一)

こんな話、あんな話 第三十七話 「お天気おじさんになり損ねた」



【新緑の輝き】

この季報は皆様のご寄稿で作られております。皆様のご寄稿をお待ちしております。

編集後記
1面は美ヶ原&上高地撮影ツアー予定と川隅功先生のセミナー予定を掲載しました。
2面記事は小松金吾さん、先崎康人さんに執筆をお願いしまして、快くお引き受けいただきました。丸山副会長は連載です。ご寄稿有り難うございました。
また、小松さんの記事は2月にいただきましたが、今号の掲載になりました。
この季報は皆様のご寄稿で作られております。皆様のご寄稿をお待ちしております。